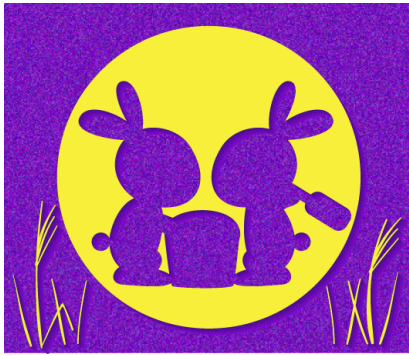




月のいと明かきに、川を渡れば、
牛の歩むままに、水晶などのわれたるやうに、
水の散りたるこそをかしけれ。

平安時代の随筆「枕草子(清少納言)」(第216段)



これは、“月がたいへん明るい夜に、牛車に乗って川を渡ると、牛が歩くにつれて、水晶などが砕け散るように、水しぶきをあげて散ったのは、ほんとうに趣を感じる”という内容です。季節ははっきりしませんが、月の美しい秋のひとつときを感じるとともに、昔の人が自然の美しさを大切にしていたことが分かります。先月の15日(木)が十五夜でしたね。ご家庭では、月見は思うようにできましたか？私は帰宅途中、すすきを持って家路に就く人に出会いました。今度は、10月13日(木)の十三夜です。美しい月を眺めてホッとした気分を味わっていた古人のように、心の余裕をもちたいものです。

全国読書週間 ～本をたくさん読もう～

10月27日(木)から11月9日(水)は「全国読書週間」です。

その時期に合わせて、今年度も本校では11月15日(火)、16日(水)、17日(木)の3日間「読み聞かせ」を行います。今年度も縦割り班毎の活動です。

1～6年生は、顔なじみのお兄さんお姉さんに読んでもらうことを楽しみにしています。「どんな本を読んでくれるのかなあ。」「きっと7・8・9年生は上手に読むだろうなあ。」など期待もしていることでしょう。小さな頃の心温まる思い出は、いつまでも心に残るものです。上手に読めなくても、明るい声と笑顔を向けた読み聞かせをしましょう。



先生たちに…ちょっと聞いてみました！！

「無人島に持っていきたい本は？」



もし無人島にたどり着き、話し相手もない状態だったら……みなさんはどんな本で心を癒しますか？何人かの先生に尋ねてみました。「なぜ〇〇先生は、この本を持っていきたいと思ったのか？」と興味をもったら、ぜひ読んでみてください。

- ◎吉井校長先生：「銀河鉄道の夜」…無人島の澄み切った星空を眺めながら、銀河を旅する気分…
- ◎山田先生：「星の王子さま」…何度読んでも新しい発見と感動と切なさを感じ、飽きることがない
- ◎小林先生：「失われた時を求めて」…ギネスブックに「世界一長い小説」として登録されているから
無人島では、読む時間がたくさんできそう
- ◎橋田先生：「老人と海」…老人と巨大魚の戦いを読んで、勇気をもらえそうだから
- ◎古木先生：「人間だもの」…背中を押してくれたり、安心させられたりできるから
- ◎松島先生：「空色勾玉」…1人の少女が立ち向かう姿に、勇気をもらえるから